

さいたま市長 11月定例記者会見

平成26年11月21日（金曜日）

午後1時30分開会

○ 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
それでは、記者クラブ幹事社の時事通信さん、進行をよろしくお願いたします。

○ 時事通信 11月の幹事社を務めます時事通信社と申します。よろしくお願います。
それでは、本日の記者会見内容につきまして、市長から説明をお願いします。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。
先月の会見に続き、再び皆様にお詫びを申し上げなければならない事態が起きてしまいました。18日火曜日には、官製談合防止法の違反容疑などで既に逮捕・起訴されておりました市職員が収賄容疑で再逮捕となりました。また、市民の皆様になめていただいた税金の横領が発覚し、昨日職員を懲戒免職とするなどの処分を発表させていただきました。

いずれも公務員としての自覚が全く欠如した許しがたい事案であり、このような事案が重ねて本市で起きたことは、まことに慚愧に堪えない思いであり、心からお詫びを申し上げたいと思います。

市が長い時間をかけて積み上げてきた市民の皆様からの信頼が崩れるのは一瞬なのだということを私や職員は改めて認識をすべきであると感じております。今後は、全職員に対し、公務に携わる者として自覚を新たに、これまで以上の緊張感を持って職務を遂行し、再び市民の皆様への信頼を築いていけるよう強く指導し、また徹底してまいりたいと考えております。

市長発表：議題「さいたま市議会 12月（11月繰上げ）定例会提出議案について」

それでは、本日の議題に入らせていただきます。

初めに、平成26年さいたま市議会12月定例会提出議案についてご説明をさせていただきます。

まず、平成26年さいたま市議会12月定例議会でございますが、11月26日に開会をさせていただきます。提出議案は全部で56件となっております。その内訳といたしましては、予算議案が9件、条例議案が13件、一般議案が28件、道路議案が2件、人事議案が4件となっております。

初めに、予算議案からご説明をさせていただきたいと思っております。

まず、予算議案は、一般会計補正予算と、国民健康保険事業特別会計ほか6つの特別会計の補正予算、下水道事業会計の補正予算の計9件となっております。

補正額としましては、一般会計では9億9,014万8,000円、そして特別会計は1億3,254万2,000円、補正額合計では11億2,269万円となっております。

中身の特徴についてご説明をさせていただきます。

まず1つ目は、「福祉・教育の充実」であります。(1)でございますが、これは国の補助基準の変更に伴いまして、幼稚園児の保護者に対する補助金を増額するというものでありまして、6億9,867万2,000円を計上いたしております。

(2)は、曲本保育園及び下木崎保育園を継続的に運営するため、施設整備等に着手する保育所管理運営事業で1億7,979万5,000円を計上しております。また、限度額2億5,377万2,000円で債務負担行為を設定させていただいております。

続きまして、(3)でございますけれども、浦和高等学校及び大宮北高等学校の定員の増に伴います普通教室等への改修修繕等を実施する高等学校管理運営事業として166万6,000円を、施設等維持管理事業として2,925万2,000円を計上するものでございます。

そして、(4)につきましては、理科教育の充実を図るために、市立高等学校4校において理科の備品を購入する各教科教材整備事業で854万5,000円を計上いたすものでございます。

続きまして、(5)といたしましては、舘岩少年自然の家の耐震補強工事及び改修工事を実施するための少年自然の家の管理運営事業として616万5,000円を計上いたしております。

続きまして、「地域経済・産業の活性化」についてでございますが、(1)

は本市のスポーツ振興あるいは地域経済の活性化等を図るため2015ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの開催に向けて準備に着手する国際自転車競技大会開催事業として500万円を計上するとともに、限度額を3億2,500万円とした債務負担行為を設定させていただくものでございます。

(2)は、埼玉県緊急雇用創出基金を活用して、無業状態にございます若年者の職業的自立を支援するための雇用対策推進事業として98万円を計上、また限度額1,198万7,000円で債務負担行為を設定するものであります。これはいわゆるサポステと言われる地域若者サポートステーションに関するものでございます。

そして、(3)でございますが、農地法の一部改正に伴いまして、農地台帳システムの改修・整備を実施する農業委員会運営事業として540万円を計上しております。

(4)は道路、排水路及び管渠事業について、年度末から年度初めにかけて切れ目のない発注を実施するための道路修繕工事、排水路補修工事及び下水道施設緊急修繕について、それぞれ債務負担行為を設定するものでございます。

続きまして、条例議案について、主な改正点についてご説明をさせていただきます。

まず、さいたま市営自転車等駐車場条例でございますけれども、市営高砂第2自転車駐車場の移転先施設の建設が完了したことに伴いまして、浦和駅周辺の自転車駐車場を再編するとともに、市営高砂第1自転車駐車場の利用者の利便性の向上を図るため、条例の一部を改正するものでございます。

中身としては、第1駐車場の屋外駐車場の廃止、それから市営高砂第2駐車場の移転、それからさらに第1駐車場への小型自動2輪車の駐車を可能とするものという部分と、さらに大宮駅西口自転車駐車場地下1階への自転車の駐車を可能とするものなどでございます。

最後に、一般議案についてご説明をさせていただきたいと思っております。

土地区画整理事業の工事完了に伴いまして、緑区大字大間木及び大字三室の各一部について、新たに大間木1丁目、2丁目及び3丁目の町名を付

すとともに、整備された道路境界に合わせて町の区域を変更するため、議決を求めるものでございます。なお、町名、町の区域変更は、区画整理の換地処分にあわせて段階的に実施をまいります。

私からの説明は以上でございます。

○ 時事通信

ありがとうございます。

市長からの説明について、質問がある社はお願いします。

議題に関する質問

○ 埼玉新聞

埼玉新聞です。

補正予算議案のほうで、クリテリウムに関して本年度のうちから来年度分として500万円を計上した上で、さらに債務負担行為ということで設定されていますが、これはもう来年度やるという方向と受け取ってよろしいのでしょうか。

○ 市長

それを前提とした準備ということになると思います。

○ 埼玉新聞

以前から年度またぎの部分の課題は言われていたと思うんですけど、こういう形にした理由と、これによってどういうことが期待されていますでしょうか。

○ 市長

1つは、スタートが非常に早く可能になります。通常は、予算が議決された後でないと契約が結べないというようなこともございますし、また契約が済んでいないと、スポンサーの募集等々できる準備行為が限られてくるというようなこともございますので、この債務負担行為を設定して議決をいただくと、早くからそういった準備がしやすくなると。過去2年間やってみて、やはりどうしてもスタートが遅いというのが準備をしていく上でかなり大きな課題、ハードルになっていると思っていますので、少しでも早くスタートができるようにということで、今回こうした形で出させていただいたところであります。

○ 埼玉新聞

そうしますと、本年度で言いますと、旧年度の末、3月にASO社と確認書みたいなものを交わして、正式な契約は5月か6月かだったと思うんですけど、それが本年度内のうちに契約するというのも可能ということでしょうか。

○ 市長

そういうことが可能になってくるということになると思います。

- 埼玉新聞 今の時点で正式契約の見込みの時期というのはわかっていますでしょうか。
- 市長 大筋でいろいろな考え方を今回のレースの前にもお話しはしていますが、最終的な調整等々もございますので、まだ具体的にいつごろになるかということについては現段階では申し上げられないと思っています。
- 埼玉新聞 ただ、確実に今回より早くできるということですね。
- 市長 そうですね。また、(早く)したいということで、債務負担行為ということにさせていただきましたので、なるべく早く契約、あるいは準備ができる状況をつくっていきたいと思っております。
- 時事通信 それでは、幹事社として代表質問させていただきます。質問はまとめて行いますので、よろしくお願いします。

幹事社質問：

①消費税 8%への増税を前提に現在の市内経済についてどう見えていますか

②2020年東京五輪に向けて市の準備状況等を教えてください

質問は2点ありまして、1点目ですが、来年度秋に予定されていた消費増税について、今回の衆議院議員選挙にも絡んで、引き上げ時期の先送りや軽減税率導入などの検討がなされています。今年度の8%への増税を前提に、現在の市内の経済についてどのように見られているか、増税の先送りについてもあわせて市長のお考えなどを教えてください。

2点目ですが、2020年の東京五輪に関して、会場の有無にかかわらず、全国の自治体で合宿地の誘致や市内組織設置などの準備が進められています。埼玉スタジアムの会場利用や東京に近い地理条件などから、さいたま市にとっても五輪は絶好の機会になると考えられますが、現在市で具体的にされている準備の状況と、市長の考える構想などがありましたら教えてください。

以上です。

- 市長 それでは、幹事社からのご質問に順次お答えしたいと思います。
まず、1点目の今年度の8%への増税を前提に、現在の市内の経済の状

況についてということにお答えをしたいと思います。

内閣府が17日に発表した2014年7月から9月期の国内総生産の1次速報の結果について、新聞の報道によりますと、マイナス1.6%ということで、プラスに転じるのではないかと予測がされていた中でマイナスということで、多くの方々に驚き、あるいは衝撃が走ったのではないかと思います。

消費税引き上げの後の景気については、7月に公表した本市の地域経済動向調査、また月例経済報告などから、徐々に回復基調に進んでいくものと私たちも見込んでおりました。

また、その後、企業経営者及び企業から直接相談を受けているさいたま市産業創造財団など中小企業支援機関、金融機関などから、「市内中小企業者は、消費税率の引き上げの影響に加えて、原材料費の高騰、また為替相場の変動など、企業活動における経費負担増加の影響から、非常に慎重な事業展開を要している。小売業においては、売上面において天候不順の影響なども生じている。」などの情報を得て、複合的な要因が重なり合っていることにより、見込まれた景気の状態に至っていないと懸念を抱いているところであります。

現時点におきまして、市内経済の具体的な状況については、現在地域経済動向調査を実施しておりますので、その調査結果がまとまり次第、公表していきたいと考えております。

また、景気の回復について、国において成長戦略、国内消費・需要の回復、所得の向上など、積極的に取り組んでもらいたいと考えております。

本市は、全国の他市と比べると、人口の増加、あるいは北陸新幹線の開業等における新たなビッグチャンスなど、この優勢を十分に生かして、地域経済の活性化に向けて、年末年始の資金需要に応じた緊急特別資金融資の実施、また商店街のにぎわい創出などに向けた地域商店街活性化事業補助金の貸付制度など、しっかりとそうした地域の中小企業、事業者の支えをしていきたいと思っております。

消費税を10%にしない、先送りにしたということについては、現下のこうした経済情勢を踏まえると、仕方のない選択だったのかなとは思っております。

続きまして、2020年東京オリンピックについてのご質問にお答えをしたいと思います。ご質問の具体的な準備状況ということについてでございますが、現在埼玉県からキャンプ誘致等の意向調査というものが行われておりまして、市が所有する競技施設の詳細、施設の規模、設備、大会の受け入れ実績、交通アクセス等を報告しておりまして、受け入れを積極的にしていこうということで取り組んでいるところであります。

また、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会でも、全国のキャンプ誘致等に関する情報というものを集約、精査した上で、再来年半ばに国内事前キャンプ候補地の情報提供を開始すると伺っております。

市内の組織体制としては、当面現時点では、関係各課等によります情報交換の場を設けて、受け入れ態勢、またキャンプ誘致等に向けた本市の対応について検討しております。

キャンプ地の誘致は、選手等が長期にわたって滞在することで、世界レベルのプレーを市民の皆さんに間近で見ただけのこと、またじかに選手と触れ合える機会を持って、地域と選手との交流、あるいはスポーツへの関心の高揚、また青少年の競技力向上、さらには観光客の誘致、国際交流の推進など、本市にもたらす影響は大変大きいと考えております。

50年前の東京オリンピックを振り返ってみますと、本市において、地域の方々がさまざまな方法で市民の皆さんのスポーツ振興、あるいは健康増進づくりに貢献したという実績もございますので、こうした事例も参考にして、さらなるスポーツの振興、あるいは健康に対する意識の高揚というものを図れる大変重要な機会であろうと思っておりますので、オリンピックに向けて、そういった取り組みを一層強化していきたいと思っております。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会については、市民に身近な施設で協議が行われるということになりますので、子供たちに夢と希望を与えるだけでなく、「スポーツのまちさいたま」を全国に、また世界にアピールできる絶好の機会であると思っております。さいたま市としては、国際的なスポーツタウンをつくろうというのも目標の一つとして掲げておりますので、それに向けて、ソフトあるいはハード等の整備なども含めまして検討して推進していきたいと考えております。

以上です。

- 時事通信 どうもありがとうございました。

幹事社質問に関する質問

市長のご回答から質問させていただきます。まず、1点目のほうに関してなんですが、消費増税にも絡みまして、今回の衆議院の解散と総選挙に至ったことに関して、市長のお考えというか、どのように感じられているかお聞かせください。

2点目が五輪のほうの関係なんですが、今は各担当課での調整ということなんですが、具体的に何か庁内の組織をつくったりするご予定などがもしあれば教えてください。

- 市長 まず、解散についてのご質問でございますけれども、今回GDPの速報値などを見ると、来年10月に消費税を増税した場合、個人消費を押し下げる懸念があるということについては、先ほど申し上げましたけども、理解ができるころだとは思っております。消費税率の引き上げの延期とこれまでの成長戦略を引き続き進めていくことについて、国民の審判を仰ぐために衆議院の解散総選挙が行われるという認識を持っております。

ただ一方で、国の来年度予算を編成する時期にちょうど当たっておりますので、こうしたものに影響がないように十分対応していただきたいと思っておりますし、そういう意味では、景気回復、あるいは地方へのさまざまな取り組みをしていく中で、こういった空白期間をできるだけつくりなないということについては迅速に対応していただきたいと思っております。

また、子育て支援を初めとする重要な政策も、10%を前提としている企画をされていたものもございますので、そういったものについても十分配慮していただきたいとは思っているところであります。

もう一つは、庁内組織ですね。現在幾つか非公式のグループ的な形で検討しておりますけども、タイミングはいつということはまだ申し上げられませんけども、今後庁内組織等々についてはつくっていきたいと考えております。

- 時事通信 では、代表質問の説明に関して質問のある社はお願いします。
- 埼玉新聞 埼玉新聞です。

解散総選挙についてお伺いします。先ほど消費増税との絡みで解散にな

ったというようなご認識を示されましたが、消費増税の見送りについては野党である民主党も容認するという事で、大義なき解散ではないかという声もあります。その大義があるかないかということについては、市長はどのようにお考えでしょうか。

○ 市 長 そういう意味では、景気あるいは経済政策が安倍政権の中でどういうふうに行われて、それをどう評価するか、今回の解散も含めてそれらがどう評価されるのかというのが今回の選挙ということではないかと思います。

○ 埼玉新聞 あと、今回急な選挙ということで、各党準備が間に合わないというような状況も伝わっています。その中で、野党が民主党にみんなの党を解党して一部合流したりとか、そういう動きがありますが、こういった野党の連合の動きについてはどのように見ていらっしゃいますでしょうか。

○ 市 長 基本的には、政策的な合意ですとか、そういった前提が必要になるだろうと思いますので、そういった部分についてははっきり示していただきたいとは思っています。

○ 埼玉新聞 市長は、その辺の政策の合意等がよく見えてきていないというふうにごらんになっていますか。

○ 市 長 現時点で党同士が合併するとかということではなくて、個々の議員さんが入党されたりということだろうと思いますので、その中でなぜ党を変えて入党されるのかということについては、各政治家の皆さんがしっかり有権者の皆さんにお示しというか、理由を説明される必要があるということと言えるのではないかと考えています。

○ 埼玉新聞 もう一点なんですけど、そういった動きの中で、市長1期目の当選のときに支援をされたみんなの党、あと渡辺喜美さん、解党されて、党が実質上なくなってしまうという状況になっています。この点については、どのように見ていらっしゃいますでしょうか。

○ 市 長 1つ言うておくと、私が応援していただいたときにはみんなの党という党ではなくて、国民運動体ということでスタートした組織でございましたので、みんなの党とはイコールの団体ではないという認識をしています。ただ、いずれにいたしましてもその後いろいろな発展形の中でみんなの党ができて、多くの国民の皆さんの期待を寄せて活動してきたわけでありまして、今回そういう意味では期待をされてきた国民の皆さんに対して

は、方針が一つにまとまらないということが原因とは聞いておりますけども、必ずしも十分理解ができる状況にはないと思っています。

- 埼玉新聞 残念な状況だと思っていらっしゃいますか。
- 市長 そうですね。そういう意味では、自民党でも民主党でもないという方々の、みんなの党が抱えている政策を実現してほしいという願いを受けて政党として活動してこられたということだろうと思いますので、途中で解党される理由が余りわかりやすくはないので、非常に残念であるという感じはしております。
- 埼玉新聞 あと、地域主権といえますか、地域から日本を変えていこうというのがみんなの党のかなり大きい理念だったと思うんですけど、その影響というんですか、地方の行政を預かる立場としては、その地域から日本を変えていく、よくしていくという部分についての影響についてはどのようにお考えでしょうか。
- 市長 基本的には、今安倍政権の中でも、地方の再生ということではいろいろな取り組みが行われようとしている部分もありますし、首長あるいは地方議会も含めて、地域がしっかりしていかななくてはという思いで活動しておりますので、一つの党が解党されるということだけで、それにマイナスの影響を受けるということではないとは思っております。
- 埼玉新聞 もう一つなんですが、これから本格的な選挙戦に入りますが、市長は例えばどこかの政党なり特定の候補者を支援される予定がありますか。あるとすれば、どのような判断基準でそういった支持する方とか党を選ばれますでしょうか。
- 市長 現時点では、特定の政党ということで支援をするということはありません。個々の政治家に対するものについては、どういうふうにするかというのはまだ考えがまとまっておりませんが、国の場合は政党が中心として動かれていく部分もございますので、地方議会等で個々の議員を応援するのはまたちょっと違う形にもなるかと思っておりますので、その辺の判断基準については、今後考えた上で対応していかななくてはいけないと思っております。
今のところ、どういうふうに支援をするのか、あるいは支援をしないのかということについてはまだ考えておりませんが、基本的には特定の

政党ということで応援することは考えておりません。

○日本経済新聞 日本経済新聞と申します。

消費増税の先送りに関連してお伺いします。先ほど市長は子育て支援新制度について、10%を前提にしている部分もあるので、十分配慮して欲しいというお話がありましたけれども、その消費増税の先送りが具体的にさいたま市の政策や事業に関して影響がある部分があれば教えてください。

○市長 今のところ先送りされるということで、国の政策としてどういうふうに対応していくのか、その10%を前提としてやってきたものをいろいろな形で財源を確保してやられるのか、あるいはそうではなくて、それも先送りされるのか、この辺はまだ国からは十分示されておりませんので、どういう影響があるのかというのはまだちょっと私たちもつかみ切れていないという状況ではあります。ただ、個々の予算編成等についてはいろいろ影響が出てくるのかもしれませんが、私たちとしては、やるべきこと、必要なことについてはやっていくという考え方を基本的には持っておりますので、その中でできる限り国の影響を受けないような形でできることが望ましいとは思っております。

○毎日新聞 毎日新聞です。

2点お伺いしたいんですが、先ほどの質問に関連してなんですが、具体的に候補者から応援演説ですとか何か支援をして欲しいという依頼が今のところあるのかどうかというのを1点お伺いしたいのと、もう一点が、ちょっと先ほどもおっしゃっておられたんですが、今回の選挙の争点ということで、市長ご自身が考えられるところは、先ほどお話になっていたような安倍政権の経済政策ということなのかということと、あとほかに争点として考えていらっしゃるものがあれば教えてください。

○市長 現時点では、応援についての要請というのは特にございません。ただ、出馬される方々は記者会見とかいろいろされたりして近辺に来られているので、ご挨拶に来られたりということはございますけれども、基本的には応援についての具体的な要請ということは特にございません。それから今回の選挙の争点ということについては、基本的には経済政策に対する評価ということが中心になるのだろうと私たちは思っています。

- 朝日新聞 朝日新聞です。
- 今に関連してなんですけども、今回の解散は、先ほども話が出ましたけども、大義ない解散だというような声も出ていますが、市長としては、今回の解散について理解できるというふうにお考えなのか、それともちょっと理解に苦しむというお考えなのか、どちらでしょうか。
- 市長 消費税というものを導入するかどうかという大きな決断をしたタイミングなので、解散したこと自体が全くおかしいということではないとは思っていますけれども、ただその解散をするということも含めて評価をするということの選挙ではないかとは思っています。経済政策も含めて、また空白期間もできたりというようなこともありますので、そういったことも含めて、あえて内閣としては信を問おうということだろうと思いますので、そういったことを国民がしっかり評価をするということの選挙と私は認識しています。
- 朝日新聞 あと、あえて市長が命名するとすれば、何解散というふうに命名されますか。
- 市長 アンケートでも一部ありましたので、基本的には今言ったように景気とか経済を評価する選挙であると思っております。
- 埼玉新聞 その最大の争点はやっぱり景気、経済ということですが、安倍政権になってから2年間の経済政策とその効果については、市長はどのように評価されていますか。
- 市長 そうですね、株価が上がったり、雇用が改善されたりという効果はあったとは思っております。ただもう一方で、地域で活動していたり、あるいは円安になった影響をもろに受けてくる方々もたくさんいらっしゃると思いますので、これは評価としてはなかなか難しいところで、よくなった点もあるし、一方でやはり経済政策も含めて、そういった円安によるマイナスの影響を受ける、特に地域の中小企業等々に対する対策ということについては、今後さいたま市としても取り組みたいと思っていますけれども、この2つのいい面と悪い面、これを全体としてどう評価するかということなんだろうと思っています。
- ただ、私たちとしてはやはり中小企業の部分がさいたま市の場合には大きいものですから、市としてはそこに対する施策、対策ということについて

ては来年度予算に向けてもきめ細やかに対応していく必要があるなど思っております。

- 埼玉新聞 そうしますと、成功だった、失敗だったと一概には言えないということ
でよろしいでしょうか。
- 市 長 そうですね。
- 埼玉新聞 そういう中で、市としても中小企業、さいたま市は多いですから、そこ
に対策をしていくということですが、やっぱりこれからはその部分を国
にも求めたいということではよろしいですか。
- 市 長 そういうことですね。やはりその辺の部分、円安になってマイナスを受
けている業種、あるいはそういう企業の方々に対してどういう対策をとっ
ていくのかというところが、今後の国の経済政策にも大変重要だろうと思
っていますし、そこをきちんとやらないと、かなり景況感、あるいはそれ
に対する意識も立場によって随分違うと思いますので、そこは今後強化し
ていただくことが必要だとは思っております。
- 時事通信 それでは、そのほかに質問がある社はお願いします。

その他：東京オリンピックバスケットボール会場がさい たまスーパーアリーナになったことについて

- 埼玉新聞 また別のことでお伺いしたいんですが、スポーツ関係のことで幾つかお
伺いします。

まずはですね、バスケットボールの会場が、さいたまスーパーアリーナ
でということで東京都のほうから埼玉県のほうに申し入れがあつて、先日
I O Cのほうの視察がありました。この件については、さいたま市にはそ
の都とか組織委員会、もしくは県から何か話とかは来ていますでしょうか。
それを受けて、何か市としては今後こうしていこうというような体制づく
りというのは今どのようにしていらっしゃいますでしょうか。
- 事務局 シティセールス部でございます。

バスケットボールの会場はもともと東京都のほうだったのですが、県に
は東京都の大会組織委員会から打診があったそうですが、まだ正式に決ま
っておりませんので、市のほうには正式にはまだそういうお話はございま
せん。

○ 埼玉新聞 ただ、恐らくこの形で、さいたまで行われることになると思うんですが、競技数が増える、しかも2競技さいたま市でやるということについては、市長はどのようにお考えでしょうか。

○ 市 長 さいたま市としては、さいたまスーパーアリーナでこのバスケットが行われるということが正式に決まればこれは大変うれしいことでありまして、心から歓迎をしたいと思っておりますし、受け入れ体制を充実させていきたいと思っております。

やはり特にバスケットは世界のトップクラスの選手たちが一堂に会するという点でもありますし、世界的にも大変注目をされている競技の一つでもあらうと思っておりますので、かなり多くの方々がお越しいただくことにもなるだらうと思っております。ですから、もちろん競技の円滑な運営ができるような応援を、支援をしていくということもそうですけれども、あわせて見に来てくださる方々へのおもてなしの体制を含めて、こういったことを、もちろんサッカーも来ますので、私たちとしてはより強化をしていく、充実をさせていくようにしていきたいと思っておりますし、ですから先ほど言いました庁内の検討体制などについても、なるべく今後早目に立ち上げていきたいと思っております。

その他：横浜国際女子マラソンの開催について

○ 埼玉新聞 もう一つ、スポーツで別のことなんですが、先日最後の大会が行われた横浜国際女子マラソンなんですが、日本陸連のほうから来年はさいたま市を中心としたコースで11月に行いたいというような発表がありました。この件については、今どの段階まで進んでいて、今後どのようにして進めていって来年の大会を迎える予定でしょうか。

○ 市 長 先日そういったことが発表されたと聞いておりますので、今後、検討会議等々でそれぞれ課題を抽出をして、それぞれの立場から意見交換をさせていただくことが重要であると思っております。

その中で、私たちとしては、名前がそういうふうにつくのかわかりませんが、そういう横浜の国際女子マラソンのようなものの代替の大会と、さいたま市民が参加できるマラソンとが一緒に開催できるような形の中で意見交換をさせていただきながら、実現ができるものであれば実現をして

いきたいと思っております。そういう意味では、スポーツのまちさいたま
ということアピールできる大変重要なイベントにもなると、魅力的なイ
ベントにもなると思っておりますので、検討委員会の中でその課題をどう
クリアするかということについては考えていきたいと思えます。

○ 埼玉新聞 それで、開催時期の件なんです、さいたまシティマラソンは毎年年度
末、2月とか3月に行っていて、先日陸連が発表した次回の後継大会の開
催時期については11月ということで発表されています。この点について
は、もうある程度11月ということで調整がついているということによ
ろしいのでしょうか。

○ 市 長 陸連さん側のいろいろな都合といいますか、オリンピックに向けてのい
ろいろな状況があらうかと思っておりますので、そういったことを踏まえ
ながら、私たちとしてもこれまでやってきた大会の日時であるとか、あと
いろいろなイベント関係のこともございますので、その中で少しお互いに
日程も含めて課題みたいなものの意見交換をさせていただきながら進め
ていくということになるのだらうと思えますね。可能性というものを検討
していくと。できれば前向きにという思いはありますけども、その中でど
ういうふうな形が可能なのかということを検討していくと。

○ 埼玉新聞 そうしますと、陸連側の要望する時期で開く方向で調整したいというこ
とでよろしいのでしょうか。

○ 市 長 どうしても開かなきゃいけないといういろいろな理由などもあるかと思
いますので、じゃその辺のタイミングで実際できるかどうかということ、
市としてそれが可能かどうかというようなことも含めて、日程の問題だけ
ではないので、それ以外のことなども含めて検討していくということにな
るのだらうと思えます。

ただ、やはり国際的な中での動かせないタイミングというのはあるかも
しれませんので、そういったことについては、次ということになると配慮
することも必要になるのではないかとはいっています。

**その他：浦和レッズが優勝した場合にパレードなど計
画されていることは。**

- 読売新聞 Jリーグに関してなんですけども、早ければ明日浦和レッズが優勝で、24日にレッズレディースのほうが大手がかかっているような状態です。今のところ市としてパレードなど、優勝した場合にですけれども、計画されていることがもしあれば、教えてください。
- 市長 そうですね、先日の記者会見でも少し申し上げましたけども、このJリーグでの優勝ということになれば、ホームタウンとしてJリーグ、浦和レッズを盛り上げてきた市としても、大変この上ない喜びであると思っております。前回優勝した2006年のシーズンではパレードを実施いたしましたので、そのときのことを参考にさせていただきながら、さいたま市民を初め多くのサポーターと喜びを分かち合いたいと思っております。
- いずれにしても、これは余り早くいろいろやり過ぎてはいけないところもありますので、まずは明日のガンバ戦を頑張ってもらおうということを信じてということになると思っております。
- 読売新聞 ありがとうございます。
- 埼玉新聞 明日は、試合はどこでご覧になりますでしょうか。
- 市長 明日は多分、スタジアムには仕事の関係で行けませんので、外からテレビないしラジオ等で確認をするということになるのかなと思います。
- 埼玉新聞 明日決まると信じていらっしゃいますでしょうか。
- 市長 そうですね。8年ぶりですけども、こここのところ大変レッズも強くなって、その実力どおり(力を)発揮していただければ11月22日、ガンバに勝てると信じております。
- 埼玉新聞 予想スコアですとか、得点差とか、何かありますでしょうか。
- 市長 そこまではちょっとわかりませんが、とにかく1ゼロでも何でも結構ですので、とにかく勝てば優勝ですので、一点でも多くとって勝ってもらいたいと願っています。

その他：シティマラソンのフルマラソン化について

- 日本経済新聞 日本経済新聞と申します。
- ちょっとマラソンの話に戻るんですけど、シティマラソンをフルマラソン化する際にもあったと思うんですけども、なかなか42.195キロのコースをですね、このさいたま市でとるのがかなり難しいという課題が

あるかと思うんですけれども、その件に関してはどうお考えなんですか。

○ 市長 そうですね、先ほどいろいろな課題を出し合っというものの中には、そのコースの問題も当然含まれてくると思っています。やはりフルマラソンのコースということになると、なかなかさいたま市内だけでは完結できない部分もあるのかなと思っていますし、そういったことも含めての検討ということになると思います。

○ 時事通信 どうもありがとうございました。
以上をもちまして、本日の記者からの質問を終了させていただきます。

○ 進 行 以上をもちまして、市長定例記者会見を終了させていただきます。
 次回の開催は、12月10日水曜日、1時半から開催いたしますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

午後2時18分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。